



日本・ロシア 難病に関する共同研究プロジェクト
2017年度（平成29年度）審査結果

2017年2月27日
一般財団法人難病治療研究振興財団

一般財団法人難病治療研究振興財団（Japan Medical Research Foundation, 以下 JMRF）とロシア基礎財団（Russian Foundation for Basic Research, 以下 RFBR）との間で締結された難病研究事業に関する協力の合意に基づき、2017年度（平成29年度）の「日本・ロシア 難病に関する共同研究プロジェクト」を募集しておりました。応募のあった4件について JMRF 及び RFBR の審査委員会において審査基準に従って其々審査し、意見交換を行った結果、2017年度は下記の2件のプロジェクトを採用することに決定しましたので報告いたします。採用されたプロジェクトには、JMRF 及び RFBR の基準に基づき研究助成が行われます。

記

【プロジェクト1】

研究課題： 歯科補綴物による金属過敏症反応を司る局所的小および全身的因子の解明に関する研究

The study of local and systemic mechanisms of metal hypersensitivity reactions to implanted devices

代表研究者： 宇田川 信之（松本歯科大学歯学部 口腔生化学講座・教授）

Ulyana Pikhlak (RSP Coordinator, Dpt Restorative Dentistry Moscow State University of Medicine and Dentistry・Assistant Professor)

【プロジェクト2】

研究課題： 脳の変性と機能保護におけるミトコンドリアでのエネルギー代謝と mtDNA 情報維持の役割

Roles of mitochondrial energy metabolism and mtDNA maintenance in neuro-protection and degeneration

代表研究者： 康 東天（九州大学大学院医学研究院 臨床検査医学分野・教授）

Maria Volodina (Research Center for Obstetrics, Gynecology and Perinatology, Federal State Budget Institution, Ministry of Healthcare of Russia・Researcher)

以上